

経験したからこそ、今伝えたいこと。



当苑で4月に起きました、新型コロナウイルス感染症クラスターにつきまして、ご利用者、ご家族、地域や各関係機関等に多大なご迷惑とご心配をおかけしました。短期入所ご利用の方が感染されたのを初めとして、6月に収束を迎えるまでの約1ヶ月半に及ぶ、闘いとなりました。

最初に新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げ、感染拡大を最小限に抑えるため、情報を集中し尽力。関係機関の指導を仰ぎながら、ショートステイやデイサービスなどの関連事業の休止、接触者・感染経路の調査、独自の検査態勢の構築、一斉消毒の徹底と強化、各階の行き来を制限、ご利用者、ご家族と関係機関への連絡、スタッフのための宿舍と食事の確保、防護具・衛生用品等の物資確保など、数日間で体制を整え、出来る限りのことに取り組みました。

日を重ね疲労が増す中、スタッフ間の意識を高めるために4つの項目(①命を守る ②施設内・地域・家族に感染させない ③スタッフのストレスを少しでも減らす ④正しい情報を開示する)を掲げ、更なる感染拡大防止へ努めました。

奈良県の入院病床がひっ迫していたことなどもあり、感染されたご利用者を長期間何人も看護し

なければならぬという、介護施設の役割を超えた業務が課せられました。そのような状況下であってもスタッフは誰一人として文句を言わず、仲間同士支え合い、ご利用者のため必死に現場を守りました。

日頃からの準備や訓練が重要であることを再認識。反省すべきことや今後の課題はありますが、迅速な対応により防ぐことができたことがあったことも事実です。

また、新型コロナウイルス感染症に対する誤解、偏見、誹謗中傷など事実と違うことが一人歩きしたのも実感しました。闘う相手はコロナウイルスであって人ではない!ということ改めて世の中全体で認識すべきだとも思いました。

一方で、ご利用者のご家族、地域、各関係機関のみならず、あたたかい励ましの言葉や物資支援などの『思いやり』をいただき、どれだけスタッフの支えになったか感謝しきれません。

自分自身を大切にすることが、周りの大切な人を守ることになります。感染症との共存が続き、ニューノーマル(新しい生活様式)への取り組みが必須になる時代、この度の経験を活かすことが私たちの使命であると、強く思わずにはいられません。自身と周りの大切な人の笑顔のために。

編集後記

■世の中の流行に対応できていると思っていた私ですが、最近全然ついていけないことに気がつきました。■SNSもかじる程度で使いこなせず、興味もあまり持てません。こうやって流行から取り残されていくんでしょうね。■しかし、そんな私でも昨年からはキャッシュレス決済を取り入れました。最初は敬遠していましたが、あれは楽ですね♪■財布の小銭を減らすために計算をしてお金を支払うなんてこともなくなり、特にコンビニでの支払時にスムーズさを感じます。■ただ、趣味の500円玉貯金が全く貯まらなくなったのが悩みになりました。(上)

■発行■ 2021年(令和3年)11月

事務局:都祁すずらん苑 広報委員会

〒632-0246

奈良県奈良市都祁友田町1437番地



社会福祉法人 大和会

高齢者総合福祉施設 **都祁すずらん苑**

E-mail: yamatokai-suzuran@nifty.com

https://www.yamatokai-suzuran.com

Tel: 0743-82-2822

Fax: 0743-82-2833

都祁すずらん苑ホームページ



すずのね

SUZUNONE



報告

◆P.2 『敬老会』と『納涼祭』

STAFF

◆P.3 居宅介護支援事業所 井岡さん

祝

◆P.3 100歳! 中西千代乃さん

お知らせ

◆P.4 経験したからこそ、今伝えたいこと